



Title	語文 第114輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2020, 114
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/85455
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

本輯は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中での編集となり、発行も例年より遅くなってしまいました。この間、阪大の授業も遠隔での実施となり、図書館や研究室の使用も制限されるなど、研究・教育にも大きな影響が出ています。七月の大学院生研究発表会も、ウエブ会議システムによる実施となりました。

本輯掲載の日本文学三本、国語学一本の論文は、教員、院生、および今春の博士学位取得者のものです。また、会員の方々の新刊五点の紹介を掲載することができました。感染症の影響下での研究・教育活動には、今後も様々な困難が想定されますが、研究室の先輩方のご研究に学び、堅実に歩みを進めていきたいと思います。

ウィルス感染症の拡大に伴い、社会的距離を保つことが求められているところですが、その距離が他者との分断を広げ、偏見を強め、差別や排除につながるおそれもあります。他者とのようにつながりを持つかという問題は、今後ますます重要になるのではないのでしょうか。そのとき、言葉は、あるいは文学は、良くも悪くも、これまで以上に大きな影響力を持つことになるのかもしれない。

皆様のご健康を、心より祈念いたします。

(勢田)

語文 第百十四輯

令和二〇二〇年八月二十五日 印刷

令和二〇二〇年八月三十一日 発行

編集・
発行者

大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学大学院文学研究科

日本文学・国語学研究室

代表 金水敏

振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一

電話 〇六―六八五〇―五一―一

印刷 能登印刷株式会社